

山形県教育センターだより

研究・情報課 指導主事 齋藤 秀志

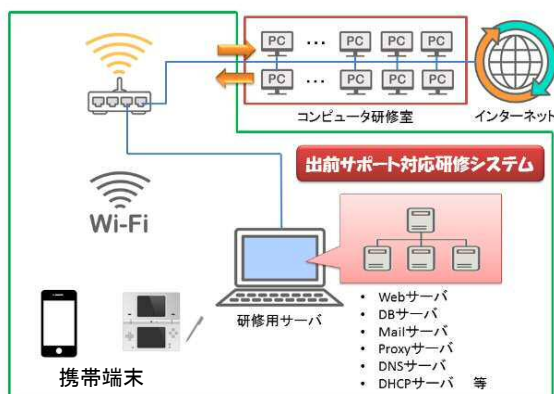
1 はじめに

山形県教育センターでは、今年度、情報教育研修パッケージについて研究し、「情報モラル教育推進のための体験型シミュレーションシステム」を開発した。当センター内で行われる研修講座での活用はもちろん、出前サポートでの活用も行っている。本稿では、その概要を紹介する。

2 研究の内容

① システムの構成

Wi-Fi ルーター、研修用サーバ、携帯端末（ゲーム機、音楽プレーヤー等）で構成される。



② 研修用サーバの構築

研修用サーバは、無償で再配布可能なオープンソースソフトウェアを活用し、各種サーバ・サービスを構築した。

③ 研修内容

【シナリオ1】携帯ゲーム機の操作体験

- ・ゲーム機の初期設定を行う。
- ・Wi-Fi に接続する。
- ・インターネットに接続する。（閲覧制限無）
- ・プロキシの利用者登録を行う。
- ・プロキシ設定を行う。
- ・インターネットに接続する。（閲覧制限有）

シナリオ1のポイント

- ・簡単にインターネット接続できることを体験
- ・面倒なプロキシ利用手続き・設定を体験

【シナリオ2】携帯音楽プレーヤーの操作体験

- ・シナリオ1に加え、アプリの配布サイトにアクセスする。

シナリオ2のポイント

- ・豊富なアプリがあることを把握
- ・多様な SNS サービスがあることを把握

【シナリオ3】SNSの操作体験

- ・友人から SNS への招待メールが届く。
- ・SNS へ会員登録する。
- ・SNS の各機能を知る。
- ・他の会員の情報を閲覧する。
- ・SNS 上で情報を発信する。
- ・コミュニティ活動を行う。

シナリオ3のポイント

- ・SNS の面白さ・便利さを体験
- ・SNS の問題点・危険性を把握

3 研究のまとめ

本システムは、実際に複数の研修講座で使用している。研修参加者の受講後のアンケートでは、児童生徒の実態に即した体験型の研修であることや、限りなく現実的な SNS サービスの利用体験ができること等、体験を通して情報モラル教育を考える機会となることから、満足度の高い研修講座となっている。

4 最後に

今年度より年次進行でスタートした高等学校学習指導要領や「新ものづくり研究会」報告書（平成26年2月、経済産業省）では、ものづくり教育の重要性が示されている。時代の進展に合わせ、学校のニーズを把握しながら、学校や教員をサポートしていきたいと考えている。